

あいち



愛知県在宅保健師会

第22-2号 令和3年3月

■発行 愛知県在宅保健師会「あいち」
名古屋市東区泉1-6-5
愛知県国民健康保険団体連合会内
TEL 052-962-1379

■発行人 丸山 路代

会長あいさつ



愛知県在宅保健師会「あいち」

会長 丸山 路代

雪が舞ったかと思えば小春日和を思わせる暖かい日があったりと、寒暖差が激しいこの冬、皆様はどのようなお過ごしでしたか。

コロナ第三波襲来で再び緊急事態宣言が発出され、特定健診等の保険者支援や被災者支援事業等の一部を除き、会の事業はほとんど中止となり、今年度、役員は一度も顔を合わせる機会がなく、リモートでの会議になりました。

感染者の急増により保健所に大きな業務負荷が発生していることから、厚生労働省は保健所支援協力者を登録する人材バンクを創設しました。現在七名の会員が登録していますが、本県は感染者が多く、自治体は応援派遣業務を人材派遣会社に委託したため、本会への派遣要請はありませんでした。新型コロナウイルスへの対策強化で、罰則等を導入した改正感染症法が二月十三日に施行されました。保健師は、彼らに寄り添い、生活者目線で相談に乗る専門職です。過去の経験から、入院できない方たちが、安心して療養できるように生活環境や療養環境が整備されなければならないと思います。宣言解除後は平常業務と同時進行になることが予測されます。派遣要請に何時でも対応できるように多くの会員の登録をお願いします。

ボランティア活動や地域サロン等の対応は、地域によって異なると思います。コロナを正しく恐れ、コロナに負けず、今、私たちにできることを精一杯やっていきましょう。

募集中!

人材バンク登録にご協力いただける方、少しでも関心のある方は、関連資料等を送付しますので、事務局までお問い合わせください。
愛知県国民健康保険団体連合会 保健事業課 担当 渡邊 ☎052-962-1379

| | |
|--------------------------|---|
| ■ 会長あいさつ・人材バンク登録募集 | 1 |
| ■ 取材「西尾市高齢者通いの場」でボランティア | 2 |
| ■ 在宅保健師会 会報「あいち」のアンケート結果 | 3 |

目次

| | |
|---|---|
| ■ コロナ禍の事業のあんな工夫こんな工夫 | 3 |
| ■ 令和2年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会報告/お知らせコーナー / 編集後記 | 4 |

取材

保健師の力を活かした地域での活動
 「西尾市高齢者通いの場」で
 ボランティア 令和二年十月六日(火)



●取材目的

コロナ禍で地域の活動をやむなく中止せざるを得なくなり閉じこもりの弊害が問題となる中で、対策を講じながら地域活動を開始された会員の尾崎さん取材しました。

●「平坂すこやか体操クラブ」って？

西尾市では、ボランティアの運営による「高齢者通いの場」が三十八か所で開催されている。運営は各々で気軽に集う場となっており、その中の一つとして「平坂すこやか体操クラブ」が町会館で開催されている。このクラブは保健推進員事業からの活動で約三十年続けられている。

講師はその時々で変わり、現在は尾崎さんが中心となって指導している。

●どんな内容で行っているの？

現在は、毎週金曜日の午後二時から三十分間、西尾市が独自に作成した「すこやか体操第二」を中心にしている。参加者は二十名ほどで、運営

は、会長、会計の他役員が三名。その中の一人が尾崎さんでアドバイザー的な役割として連絡調整を行っている。

●再開までの経緯

令和二年三月～九月まで休んでいた。その間役員が電話等で連絡しながら開催時期を話し合ったりして、消毒薬、非接触体温計等を準備した。以前は一時間行っていた体操を十分に短縮したり、換気、ソーシャルディスタンスを保ちながら短時間で充実した内容になるよう工夫し現在も、状況を見ながら行っている。



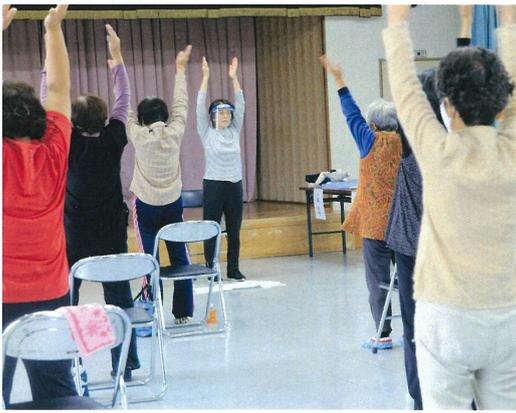
消毒・検温しましょうね！

●参加者の声

最初は保健センターで実施していたが「家の近くがいい」との声があり現在の場所で行うようになった。途中で病気になることも皆が声掛けをして体操を続けることによって元気を取り戻している人もいます。毎日、自宅で体操をするようになって、睡眠薬に頼らず眠れるようになった。



ソーシャルディスタンスを保って！



●尾崎さんの教室への思い

「通いの場」のボランティアを始めみて感じる事は、体操の効果はもちろんのこと、人と人のつながりを感じている。また、人生の先輩から学ぶことが多くあり、私自身も、地域の住民の一人としてボランティアを続けて行きたいと思っています。

取材を終えて

かなりの長期間の会の継続に感服しました。参加者はこの会を生活の一部としているので、コロナ禍にあっても自分たちで工夫して協力し合い継続していききたいという気持ちが皆さんの話の中から感じました。

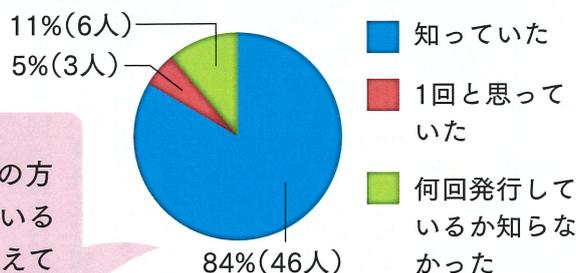
国民健康保険が主催で始められた東洋の養生術を取り入れた「命の貯蓄体操」の一部も含まれており、健康づくりを住民の方によって、温められ育てられていることを実感しました。

在宅保健師会会報「あいち」のアンケート結果

令和二年六月に会員の皆様へ会報アンケートを行いました。ご協力ありがとうございました。

結果

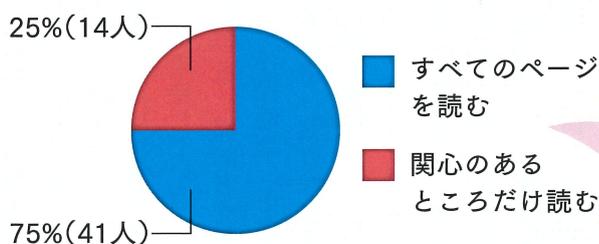
年2回発行を知ってましたか？



8割以上の会員の方に2回発行している事を知ってもらえていました。今後の発行希望回数については年1回と2回の回答は、ほぼ半数となっていました。



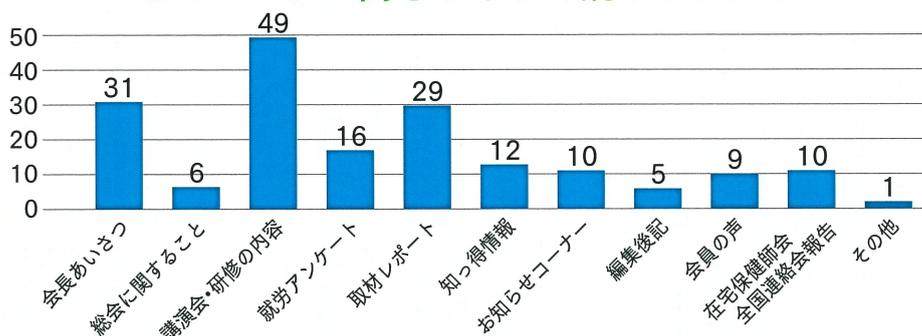
会報をどの程度読みますか？



ほとんどの方が全てに目を通してもらえ、関心の高さが分かりました。

「研修に参加できなくても、会報を読めば概要が分かり参考になる」「会長の挨拶文は、国の保健事業の動向がよめる」等のコメントがありました。

どのページに関心をもって読みますか？



今後掲載してほしい事として、「公衆衛生のトピックスや新型コロナウイルス等のタイムリーな事が知りたい」「会員の趣味などのコーナーがある」との意見がありました。発行回数については、今後検討を重ねていきます。

被災者支援交流会

感染予防のために、ハンドマッサージから「ハーブ&アロマ手浴」へ変更した。



事業の再開
コロナ禍の
工夫
あんな
こんな
工夫



楽友会サロン

パルスオキシメーターや非接触体温計を導入して健康チェックを行っている。また、感染予防対策の研修を行い、できるだけ不安を和らげ安心して教室に参加できるようにしている。



すこやか健康教室

いつでも事業が再開できるように準備し、新規従事者等に電話で状況説明して、事業開始に向けてモチベーションを保っている。





令和二年度の全国連絡会は集合形式の開催はされず、資料及び解説を録画したDVDが配布されましたので、その状況をとりまとめました。

1. 主催者挨拶

新型コロナウイルス感染症対策本部において「新型コロナウイルス感染症に関する今後の取組」が取りまとめられた。在宅保健師等を登録する人材バンクが創設され、全国から五百名を超える登録があった。

2. 説明

「保健事業を取り巻く国の動き」
国保中央会 中野常務理事
健康寿命延伸プランの実現に向けて、健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進、地域・保険者間の格差の解消に向け、「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」を推進することや「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」等の説明があった。

3. 講演

①「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について」
厚労省保険局高齢者医療課
主査 橋本亜紀子氏

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため、保健事業については、後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村においては、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施することとなっているので在宅保健師には経験を活かした担い手として期待している。

②千葉県松戸市 高齢者支援課
主任保健師 小島麻奈氏

③愛知県蒲郡市 健康推進課
課長補佐 千賀典子氏

両市ともにKDBを活用して健康課題を抽出し、健康状態不明者への個別支援を行ったり、通いの場を活用した健康教育・個別相談を実施。また、定期的に業務内容の検討や情報交換を他課と行い、連携して支援を行っている。

④「健康危機管理対応について」
厚労省健康局健康課

保健指導室長 加藤典子氏

災害発生時の危機管理に係る調整等に関する専門的な研修・訓練を受けた都道府県の職員を中心にDHEAT(災害時健康危機管理支援チーム)を編成し、被災都道府県の要請に基づき応援派遣する。新型コロナウイルス感染症に関する今後の取り組みとして、感染症法における入院勧告などの権限の見直し、医療提供体制の確保、保健所体制の整備等七項目をあげ、今後取り組んでいく予定である。

4. 事例発表

①岡山県国保連合会保健事業課
保健推進班主査 早川さつき氏

岡山県子ども未来課の依頼により「被災地域の子どもの安全・安心な居場所」の支援を行った。被災体験を持つ子どもの心のケアに有効であった。

②鳥取県在宅等保健師の会

「梨花の会」会長 美船智代氏
県の新型コロナウイルス感染症対応に伴い会として、事務局を通じて県へ新型コロナウイルス感染症対応協力の申し出をして、発熱相談センターにおける電話対応・相談を行った。

5. 報告

国保中央会

保健事業専門幹 三好ゆかり氏
在宅保健師等会にかかる災害支援等の状況について、新型コロナウイルス感染拡大を受け、地域保健対策全般について基本的方向性を示す「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」を改定する予定である。

お知らせコーナー

令和3年度の総会は、書面により開催する予定です。講演会の代わりに研修会を予定しています。時期と内容、講師等の案内は総会議案書に同封しますので、ご確認をお願いします。

編集後記

会報アンケート結果で、皆さんの会報に関する思いを知る事ができました。今回もコロナ禍での編集となり、4ページのみとなりましたが、何とか会員の皆さんへ状況を伝えたいとの思いで発刊しました。